

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	第 1 回中津川市介護保険運営協議会
開催日時	令和 8 年 6 月 2 3 日（火）13時30分～15時10分
開催場所	健康福社会館 4階 多目的ホール
出席者の役職名	委 員：恵那医師会代表・社会福祉協議会代表・老人福祉施設代表・老人保健施設代表・訪問看護事業者代表・居宅介護支援事業者代表（2名）・民生委員児童委員協議会連合会代表・区長会連合会代表・東濃地区労働組合協議会代表・2号被保険者代表・介護相談員代表 事務局：医療福祉部長・医療福祉部次長・高齢介護課長・高齢介護課統括主幹・高齢介護課課長補佐（2名）・高齢介護課係長・高齢介護課主任主査
傍聴者	なし
話し合われた内容（会議録又は審議概要）	別紙
会議資料	（添付ファイル）
次回開催予定日時	未 定
次回開催予定場所	未 定
所管部課	医療福祉部高齢介護課

欠席者 中津川市老人クラブ連合会長・ユニオンネット中津川代表

1号被保険者代表

令和8年度 第1回 中津川市介護保険運営協議会 会議録

令和8年6月23日（火） 13時30分から15時10分
中津川市 健康福祉会館 4階 多目的ホール

【開会】

1 委嘱書交付

2 あいさつ

今井副市長

皆さん、改めましてこんにちは。

本日は大変お忙しい中、令和8年度の第1回介護保険運営協議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より、赤座先生をはじめ、運営協議会の皆様には、中津川市の医療介護のためにご尽力いただきますとともに、市政にご理解ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

今、中津川市では、第9期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づきまして、高齢者が住み慣れた町で、健康でいつまでも暮らせる社会を目指し、環境整備や健康づくりを推進、高齢者の自立支援等に向けて取り組んでおります。今後は高齢者人口がピークを迎える2040年度を見据えまして、持続可能な介護保険制度の確保に重点を置き、後ほど諮問をさせていただきますけども、令和9年度から始まります、第10期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に取り組んでまいります。

引き続き、運営協議会委員皆様の、ご協力をお願い申し上げます。

本日は、任期満了に伴いまして、新たに運営協議会の委員を委嘱させていただきました。再任の方が6名、半分以上の9名の方が新しく委員に就任していただきます。

任期が2年間あります。どうぞよろしくお願いいたします。

また、本日、議題として、中津川市の高齢者保健福祉、介護保険の現状など、7つの議案についてご審議をお願いしております。

大変長時間になりますが、よろしくお願いいたします。

3 会長、副会長選任

委員より 会長 赤座 薫委員、副会長 大井 文高委員の推薦あり

委員の承認により 会長 赤座 薫委員、副会長 大井 文高委員に決定

4 会長、副会長あいさつ

会 長

皆様、こんにちは。会長に推薦されました赤座です。よろしくお願いいたします。

先ほど副市長から委員の方が半数以上代わられるという話がありました。

はじめての方もこれからお世話になります。よろしくお願いします。

中津川市は、高齢化率が34.5%ですね。全国の高齢化率が29.5%で5%ほどこの地域上回っていることになります。

地域の医療構想というのがございますが、2025年まで、急性期の病院のベッドのコントロールというのを行っておりました。これは必ずしも日本全国でうまくいっているわけではございません。

ただ、この地域では病院のベッドの数はおおよそ、妥当なところだと考えています。

例えば中津川市と恵那市で人口12万弱、ベッドが800から1500そのぐらいですかね。そんなところでなんとかやっても、病床があるというようなことで、医療のニーズはピークを超えているという風に考えております。

あと、九州地区で同じようなところが、福岡県の大牟田市は人口11万くらいですけど、ベッドが4千もあるということです。

結局のところ、それほど医療のニーズがあるわけではないので、結果的には特養か老健といったようなことで、病院が使われていることはとても問題視してしまして、今回の診療報酬改定の大鉈が振られたというところですよ。

いろいろなところで、医療は西高東低と言われております。非常に偏っているものですから、その煽りをこの地域が受けることで、受けなくてもいいような、厳しい状況におかれるということがございますけれども、我々は現状を維持していくということが大事だと思います。

それに伴いまして、新しい地域医療構想もございます。2026年から2040年まで介護医療のピークを迎えるにあたりまして、医療、介護をシームレスに繋ぐ、急性期医療から回復期、慢性期、在宅へというのが今後の新しい地域医療構想です。

そのメインが介護ということになっていくと思います。介護保険制度が中津川市の高齢者社会の中でうまく、ソフトランニングできるように我々の力で頑張っていきたいなと思います。

そして一番の問題は、中津川市ではおおよそ10年間くらい、年間1000人から1200人の方がお亡くなりになります。生まれてくる方がどんどん減少して、300人強、その前は350人ぐらい、差し引き700人くらいずつ人が減っているということになっております。

ところが、実際の人口をみると1000人減っています。本来700人程度の減少であるところが1000人減っているということです。

その300人は何だろう、ということですが、たぶん、労働生産人口が減っていると考えられます。その中で介護保険制度、介護委員としましては、当地域は高齢化率35%であり、高齢化社会を迎えるにあたって、まっ只中であります。

その中での介護のニーズは、今後20年先もほぼ変わらないのですが、そこを支えていく人がどんどん減っていくということが1番の問題となっております。

例えば昨年、赤ちゃん300人です。その前350人です。中津川市、小学校が15校あるんですよね。あと5年後小学校1年生300人ですよ。維持できるのでしょうか。

介護の需要自体はさほど変わらない、しかし、若い人は減っていくことで支えていく人がいなくなってしまうことが危惧されます。そういう中で、我々、どのようなサービスを提供できるのだろうかということが非常に大事になるのではないかと思いますので、ソフトも含めて皆さんと考えていきたいなと思います。

よろしくお願いします。

副会長

社会福祉協議会で現会長をしています大井と申します。全く会長と同じ思いを感じていて、昨年の6月から社会福祉協議会でお世話になって、介護保険事業の状況を目の当たりにしました。本当に介護に関わる人材も高齢化している、その中でこれから先どのように人材を確保し、また人材を早い段階からどう育てていくかっていうところに、大きな課題があるということを実感しております。

そんなところを、この第10期の計画の中で盛り込んでいければ、というように思いながら、今日出席いたしました。

どうぞよろしくお願いいたします。

5. 諮問 第10期高齢者保健福祉・介護保険事業計画の策定について

今井副市長から赤座会長へ諮問

6. 議題

(1) 中津川市の高齢者保健福祉・介護保険の現状について

資料 1

事務局 (事務局説明)

会 長

ありがとうございます。今の事務局の説明に関しまして、ご意見ご質問はありませんか。

はい、ではまた後程うかがいます。続きまして、議題2 地域支援事業について、事務局説明をよろしくお願いいたします。

(2) 地域支援事業について

資料 2

事務局 (事務局説明)

会 長

ありがとうございます。改めてご質問ございますか。

では、議題3 第9期介護保険事業計画の評価についてお願いします。

(3) 第9期介護保険事業計画の評価について

資料 3-1, 3-2

事務局 (事務局説明)

会 長

ありがとうございます。ご質問はございますか。
続きまして、議題４計画策定のスケジュールについて、よろしくお願いします。

(４) 第１０期計画策定スケジュールについて

資料 ４

事務局 (事務局説明)

会 長

ありがとうございます。ご意見などございますか。
議題５アンケート調査の結果について、よろしくお願いします。

(５) 介護に関するアンケート調査の結果について

資料 ５

事務局 (事務局説明)

会 長

ありがとうございます。ご質問はございますか。
では、議題６、地域密着型事業者の公募状況について、よろしくお願いします。

(６) 地域密着型事業者の公募について

資料 ６

事務局 (事務局説明)

会 長

ありがとうございます。ご質問はございますか。
では、議題７地域密着型サービス事業所の指定及び指定更新について説明をお願いします。

(７) 地域密着型サービス事業所の指定及び指定更新について

資料 ７－１、７－２

事務局 (事務局説明)

会 長

ありがとうございます。ご質問はよろしいでしょうか。
ここまで市からの報告がありましたが、委員の皆様にご意見を聞きたいと思います。

委 員Ａ

これと言ってないですが、これぐらいの資料は予習しておればいいのかという気はしました。ここで説明がなくても、みんなが予習してこれば済むことかと思います。

会 長

そうですね。

委員B

資料7の事業所実施指導報告書の中の、グループホームほのぼのの、令和4年6月1日から令和8年1月31まで事業を休止していたとありますが何故ですか。

事務局

運営する人員が足りない、人員が集められないということで一時休止していたということです。

委員C

資料もちょっと事前に読んでみたのですが、説明があったことで、そうなんだという風に考える部分もありましたのでありがとうございます。

今回、資料5の、まる5のところですが、認知症に関する相談窓口で「知らない」が58.7パーセントということで、意外と認知症に関する相談先を知らない方が多いんだということを知ることができました。私たちケアマネとしてできることを考えていかなければいけないと、初めて会議に参加させていただき思ったところです。ありがとうございました。

会 長

ご意見ありがとうございます。なかなか窓口がわからないですね。

全く興味のない人は全く知らないということですが、どんな方法があるかは、なかなか難しいです。私先月のマイカを見たのですが、ああいう若い人が見るようなところに情報発信できるといいかなと思います。両市長が載っているようなところを使って情報発信できると、効果があるのではないかと思います。

委員D

私、今回初めて委員となりまして、事前に資料を予習させていただき、今回お話を聞かせていただきまして、資料の中で感じたことを少し述べさせていただければという風に思います。

資料3の2の7ページ事業番号39について、独居老人緊急通報システム事業の推進というところで、1人暮らしをされている高齢者の方に対して、「身障1級から3級の報告受けており、自力で助けを呼ぶことが困難な方を対象に、緊急通報システムの支給している」という内容を、今回初めてお恥ずかしながら知ることができました。実際、タイムリーな経験ですが、通所リハビリテーションも担当しておりまして、利用者の方をご自宅に迎えに行った際に、お1人暮らしの方ですが返事がなく、自宅の中に入って、ベッドサイドに倒れているというところに遭遇いたしました。

その方は脳出血の後遺症で半身麻痺がありまして、ただ、支援がなかなか入れず、身体障害者手帳をお持ちでない方で、もちろん、この緊急通報システムというものも持っておられない方だったので救急搬送させていただきました。命に別状はありませんでしたが、こういった介護に携わる我々も、このシステムというものがあって、そういった方が対象になっているのかというところをしっかりと勉強させていただき、普及啓発を行っていきなさいかなと思います。

実際に自分の施設でもこういうものがあると紹介させていただいたら、やはり大多数の職員が初めて知ったシステムでもあり、対象となる人はどういう方なのかという詳細は知らなかった方が多かったです。自宅にあれば我々の対応するときのものすごく心強いツールにもなりますので、ぜひ市の方も積極的な普及啓発というところを進めていただけると、我々現場の職員としても心強いことでありますので、よろしくお願ひしたいということをお場をお借りしてお話しさせていただきました。ありがとうございます。

会 長

ご意見ありがとうございます。

私から資料5の9ページについて、従業員の充足感について「足りていない」が41.5%であることが意外でした。包括支援センターとか介護の現場では色々と人が足りていないことが話題になっていますが、足りている、足りていない等の内訳はどういうところが足りていて、どういうところが足りていないなど分かりますか。

分かれば教えていただきたいです。

事務局

修正資料とともに内訳を確認し、ご報告させていただきたいと思います。

会 長

この内訳を明らかにすることによって、どういう施設は足りているけど、どういう施設は足りていないとか、そういうことが分かってくると、より不足しているところに対しての方策とか出てくと思いますので、そこを明らかにすることによって、確保等に関して有効な手が出てくと思います。

あと、もう一点ですが外国人労働者について、工場などは圧倒的にベトナムやタイが多くなっていますが中津川市は、介護ではインドネシア、ミャンマーとなっており国籍の違いに理由はありますか。

事務局

特に理由とかは把握できていませんが、こちらが調査の結果ということで、回答も100%ではないということで返事をいただいたところで、現在の傾向としては、インドネシア・ミャンマーが多いというような結果です。

会 長

特定の業者が入っているという可能性はあるのですか。

事務局

その情報はございません。

会 長

少し時間をかけておりますけれども、貴重な会だと思ひます。

行政の方から詳しい説明もございました。

先ほど事前に資料を見ておけばわかるという話もありましたが、疑問点などをはなしていただきまして、次につながるようなことができればと思ひますのでよろしくお願ひします。予定時間をオーバーしましたが、これで終了させていただきたいと思ひます。

貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。赤座会長におかれましては、長時間にわたりお務めいただきまして、誠にありがとうございました。

今回の会議では資料の説明が長くてなっており、説明の仕方等は今後工夫させていただきます。

それでは、本日の日程はこれで全て終了となります。

閉会の言葉を大井副会長にお願いいたします。

副会長

長時間にわたり慎重に協議、報告事項等いただき、ありがとうございました。アンケート調査の介護に関する情報提供という項目もあったのですが、専門用語は一般的にはわかりにくくいっていうことが多いのではないかなと思っています。

いかに小学生が見てもわかるような内容っていうのを使っていきたいなと、思いながら進めたいと思っています。

今日はありがとうございました。

【閉 会】